Panasonic

給排気ボックス（集中リターンボックス）取扱説明書 工事説明付き

本　体　品　番		FY-BH41
適合ルーバー…フィルター付（別売品）	樹　脂　製	FY-LZ141

・この取扱説明書（工事説明付き）に記載されていない方法で使用され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

■絶対に分解したり修理・改造しない

火災・感電・けがの原因となります。

●修理はお買い上げの販売店・工事店またはこの説明書に記載の「修理ご相談窓口」へご相談ください。

分解禁止

⚠注意

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■お手入れの際は、ゴム手袋を使用する

板金・樹脂部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

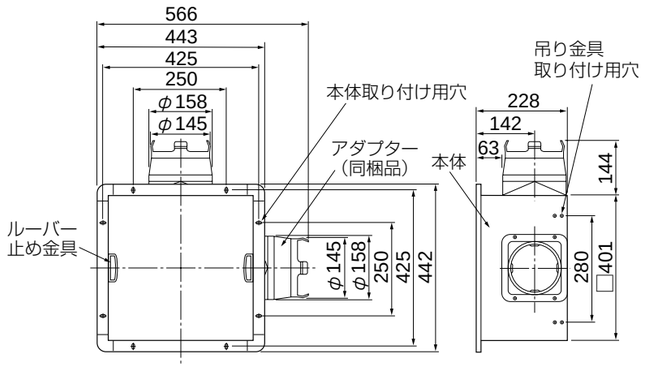
■使用を終了した製品は放置せず、撤去する

万一の場合、落下により、けがをするおそれがあります。

■設置工事は必ず専門の工事業者に依頼する

けがをするおそれがあります。

各部の名前と寸法



お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品 ●タッピンねじ（φ4×30L）（本体取り付け用）……4個
（φ4×8L）（アダプター、吊り金具取り付け用）…12個
●吊り金具……2個

同梱品 ●アダプター（φ150タイプ）……2個

接続ダクト

呼び径	種　類
φ150（6番）	グラスウールダクト
	塩化ビニルダクト
	アルミフレキダクト
	断熱フレキダクト
	鋼板スパイラルダクト

お手入れのしかた（1か月に1回程度）

⚠注意

■お手入れの際は、ゴム手袋をお使いください

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

お願い

■高い所での作業となりますので足場には十分お気を付けください。

■お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。（塗装の変質、変色防止のため右記のものは使わないでください。）

■お手入れ後は、逆の順序でルーバー、フィルターを取り付けてください。

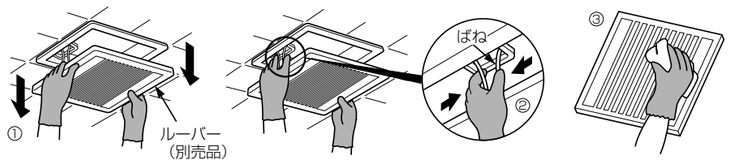
禁止

下記のようなものなどは使用しないでください。

ルーバーのお手入れ

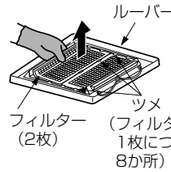
①ルーバーを少し下げる。
②ばねをせばめてはずす。（2か所）

③水または台所用中性洗剤に浸した布でふきとる。汚れがひどい場合は、ぬるま湯に浸し、台所用中性洗剤で洗い、自然に乾燥させる。



フィルターのお手入れ

■フィルターをはずす
①ルーバーをはずす。
②フィルターを持ち、
③ツメからはずし、引き出す。



■汚れをとる
●掃除機でほこりを吸い取る。または、軽く手ではたく。
●汚れがひどい場合は、
①ぬるま湯に浸し、台所用中性洗剤で洗う。
②自然乾燥させる。

工事説明 お願い

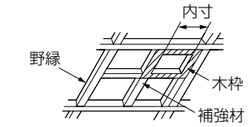
■浴室など湿気の多い場所で使わないでください。（さびの原因になります。）
■台所など油煙の多い場所で使わないでください。（ルーバーなどの破損の原因になります。）
■高温になる場所（40℃以上）で使わないでください。（製品が変形するおそれがあります。）
■次のような配管工事はしないでください。（1.極端な曲げ　2.吐出口のすぐそばでの曲げ　3.多数回の曲げ　4.接続ダクト径を小さくする）

施工方法 以下の手順にしたがって施工してください。

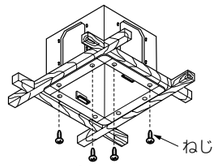
1-A 本体枠の取り付け（野縁利用の場合）

①木枠を作り、野縁に取り付ける。

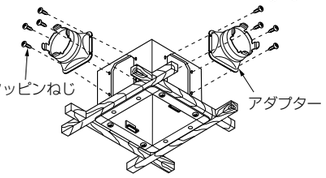
内寸	□410
木枠	約30mm角材（1寸角）



②本体を木枠内に挿入し、付属のねじ（φ4×30L、4個）で取り付ける。

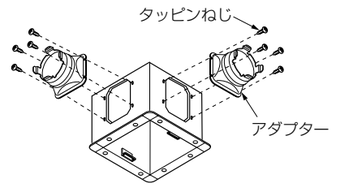


③同梱のアダプター（φ150タイプ2個）を付属のタッピンねじ（φ4×8L、8個）で本体に取り付ける。

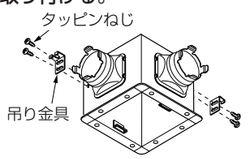


1-B 本体枠の取り付け（吊りボルト利用の場合）

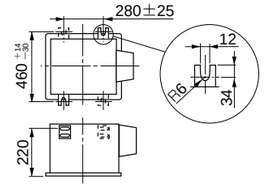
①同梱のアダプター（φ150タイプ2個）を付属のタッピンねじ（φ4×8L、8個）で本体に取り付ける。



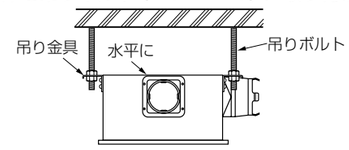
②付属の吊り金具（2個）を付属のタッピンねじ（φ4×8L、4個）で本体に取り付ける。



■吊り金具取り付け位置



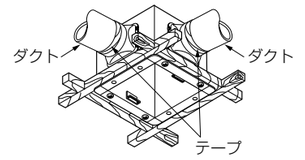
③本体を吊りボルト（M8～M10）に取り付ける。



2 ダクトの接続と天井板のはり付け

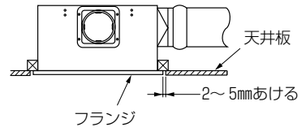
①ダクトをアダプターに差し込み、テープを巻いて固定する。

■ダクトは本体に力がかからないように、天井より吊り下げてください。

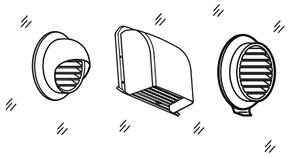


②天井板をフランジと2～5mmのすきまを設けてはり付ける。

■すきまがないと製品のメンテナンスができません。

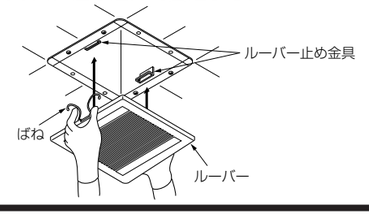


③外壁面には、パイプフード（別売品）、またはベントキャップ（別売品）を取り付ける。



3 ルーバーの取り付け

ルーバーのばねをせばめて、ルーバー止め金具の穴に差し込んで固定する。



パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

©Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2008

BH41Z4020F-P0892-6012